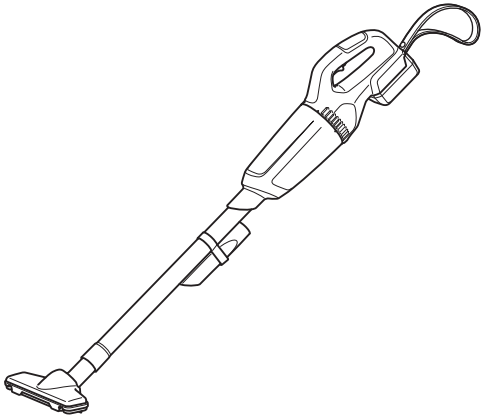
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

充電式クリーナ

モデル MCL143D



このたびは**充電式クリーナ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

・主要機能 ---------- 3
・安全上のご注意 ---------- 4
・各部の名称および標準付属品 ---------- 14
・別販売品のご紹介 ---------- 15
・バッテリについて ---------- 17
・充電器について ---------- 19
・使い方 ---------- 21
　・スイッチの操作 ---------- 21
　・標準付属品の使い方 ---------- 22
　・ノズル ---------- 22
　・ノズル+ストレートパイプ ---------- 22
　・サッシ（すきま）用ノズル ---------- 23
　・サッシ（すきま）用ノズル+ストレートパイプ ---------- 23
　・ゴミの捨て方 ---------- 24
・別販売品の使い方（高機能フィルタ） ---------- 29
　・高機能フィルタ ---------- 29
・別販売品の使い方（フロア・カーペットノズル） ---------- 33
　・フロア・カーペットノズル ---------- 33
　・フロア・カーペットノズルのお手入れ ---------- 34
　・フロア・カーペットノズル＋ストレートパイプ ---------- 34
・保管について ---------- 35
　・本製品の立て掛け方 ---------- 35
・保守・点検について ---------- 36
　・お手入れの際は ---------- 36
・保護機能 ---------- 37
・故障かな？と思ったら ---------- 38
・充電式クリーナ 保証書 ---------- 44

主要機能

モデル / 主要機能	MCL143D	
電動機	直流マグネットモータ	
バッテリ	リチウムイオンバッテリ	
	BL1415G （容量 1.5 Ah）	BL1420G （容量 Typ.2 Ah ※）
電圧	直流 14.4 V	
連続使用時間	約 22 分	約 27 分
集じん容量	600 mL	
本製品寸法	長さ 436 mm ×幅 102 mm ×高さ 148 mm （ストレートパイプおよびノズル取り付け時の長さ 948 mm）	
質量	1.1 kg （バッテリ BL1415G 付き、ノズル･ストレートパイプなし）	

充電器	DC18SG
入力電圧	単相交流 100 V
入力周波数	50-60 Hz
入力容量	160 VA
出力電圧	直流 14.4-18 V
出力電流	直流 3.7 A

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※記載の容量は標準的な数値です。

安全上のご注意

JPC002-11

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

※イラストは参考例です。製品によりデザインが異なりますのでご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

- 水洗いしない。また、風呂場など湿った場所や濡れた場所で使用しない。
  - 感電や発煙の恐れがあります。

- 絶対に分解したり修理・改造しない。
  - 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

- 子供に本製品や充電器で遊ばせない。
  - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

- クリーナの誤始動を防ぐために、次の作業の際は必ずスイッチを切り、バッテリを抜く。
  - ゴミ捨て
  - フィルタ類の清掃（お手入れ）
  - 保管
  - その他危険が予想される作業

- 本製品にバッテリを差し込む際は、スイッチが入らないように注意する。
  - スイッチに指をかけるなど、スイッチが入る状態でバッテリを装着すると、急に動きだし事故の原因になります。

- 本製品の吸込口や排気口に手、髪または身に着けたものを入れない。
  - けがの原因になります。

- 本製品の吸込口や排気口に顔を近づけない。
  - けがの原因になります。

⚠警告

・ 屋外で使わない。

・ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。
  ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

・ 以下のものは吸わせない。火災やけがやモータの故障の原因となる。

引火性物質
- 油類（灯油・ガソリンなど）
- 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- トナーなどの可燃物
- 塗料
- 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- 可燃性ガス（スプレーなど）
- じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど

爆発性物質
- ニトログリセリンなど

発火性物質
- アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの
- ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピン、針、クリップなど

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）
除湿剤
大量の粉末（小麦粉、灰、消火器の粉など）
人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質
薬品類
液体や湿ったゴミ
動物などの排泄物、吐しゃ物

⚠警告

- 使用中、本製品の調子が悪かったり、異臭や発熱、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止する。
  - そのまま使用していると、けがの原因になります。お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

- マキタが指定した付属品や別販売品以外を使用しない。
  - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあります。

- 作業場の周囲状況も考慮する。
  - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

- 無理な姿勢で作業をしない。
  - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

- 火気や暖房器具などに近づけない。
  - 本製品の変形による短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで使用したり、充電したりしない。
  - 爆発や火災の原因になります。

⚠警告

- 損傷した部品がないか点検する。

  - 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - スイッチで始動、および停止操作のできない充電製品は、使用しないでください。

- 充電式クリーナは、注意深く手入れをする。

  - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

- 温度が 50 ℃を超える可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しない。

  - 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。
  - 内蔵のバッテリが劣化する原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

- 使用しない場合は、きちんと保管する。

  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。

- 雨中で充電したり、ぬれた手で電源プラグやバッテリを抜き差ししない。充電器の端子に金属片や水などの異物を近づけない。

  - 感電やけがをすることがあります。

⚠警告

- 交流 100 V で充電する。

  - 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源で充電しないでください。火災の原因になります。
  - ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

- 火災の恐れがあるので、次のようなことをしない。

  - ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、たたみ、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
  - 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
  - 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

- 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグを抜いて充電を中止する。

  - そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- 専用の充電器以外は使用しない。

  - バッテリの液もれ、発熱、破裂の原因になります。
  - 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

- 充電器は充電以外の用途に使用しない。また、バッテリや充電器をマキタが指定した機器以外に使用しない。

- 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。

⚠警告

- 充電器のコードを乱暴に扱わない。

  - コードを持って充電器を運んだり、プラグコードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

- 充電器のコードが傷んだり、電源プラグの挿し込みがゆるいときは使用しない。

  - 感電、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 充電器に使用する延長コードは、使用環境に適したものを使用する。

  - 延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

  - 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

- 充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜く。

  - 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

- バッテリは発熱、発火、破裂の恐れがあるので、次のようなことをしない。

  - 端子に金属類を接触させないでください。
  - 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
  - 雨や水にぬらさないでください。
  - 分解、改造はしないでください。
  - 火中に投入しないでください。

- 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液もれすることがあるため、もれ出た液体に不用意に触れない。

  - 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

⚠警告

- マキタ指定以外のバッテリ、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しない。また、バッテリをマキタが指定した製品以外で使用しない。
  - 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

- バッテリや充電器を充電中に布などで覆わない。
  - 換気の良い場所で充電してください。発熱や破裂、発火の原因になります。

- 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しない。
  - 発熱や破裂、発火の原因になります。
  - 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

- 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しない。
  - 継続して使用すると、発熱や破裂、発火の原因になります。

- バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。該当するバッテリを輸送する際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従う。
  - 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

- 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てない。
  - 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠警告

・ 十分な防じん対策をしてください。

・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

⚠ 注意

- 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。
  - 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。

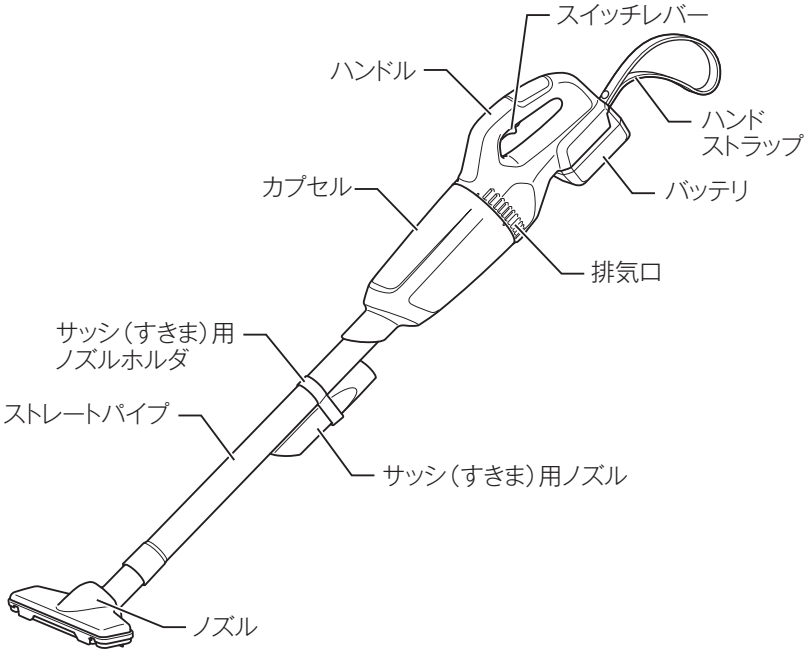
- フィルタ類を正しく取り付ける。
  - フィルタ類を確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタ類を取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

- 吸込口をふさいで長時間運転しない。
  - 過熱による本製品の変形、発火の原因になります。

- 排気口をふさがない。
  - 火災の原因になります。

- 高所で使用するときは、本製品を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルやストレートパイプを持たないで必ず本製品のハンドルを持って運ぶ。
  - 本製品や付属品がはずれたりして落下すると、けがや故障の原因になります。
  - ハンドル以外を持って持ち運ぶと、本製品からはずれるなど落下の原因になります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

モデル / 標準付属品	MCL143DZ	MCL143DS	MCL143DSA
バッテリ	×	BL1415G	BL1420G
充電器（充電時間）	×	DC18SG （約 35 分）	DC18SG （約 40 分）
ノズル 部品番号：123486-2	○	○	○
ストレートパイプ 部品番号：451241-5	○	○	○
サッシ（すきま）用ノズル 部品番号：413770-6	○	○	○
サッシ（すきま）用ノズルホルダ 部品番号：451242-3	○	○	○
フィルタ（本製品取り付け） 部品番号：A-43963	○	○	○
プレフィルタ（本製品取り付け） 部品番号：A-79136	○	○	○
バッテリカバー	×	○	○

別販売品のご紹介

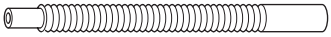
・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

・ バッテリBL1415G(容量1.5 Ah)
部品番号：A-61466

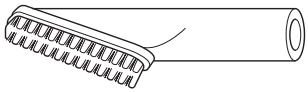
・ バッテリBL1420G(容量Typ.2 Ah※)
部品番号：A-71766

※記載の容量は標準的な数値です。

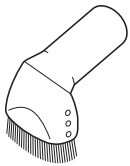
・ フレキシブルホース
部品番号：A-65925
(自由に曲がるため、車などの狭い場所の掃除に便利です。)



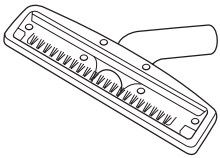
・ 棚ブラシ
部品番号：A-65931



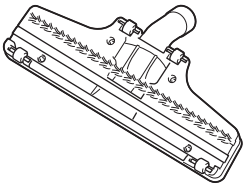
・ ラウンドブラシ
部品番号：A-65947



・ じゅうたん用ノズル
部品番号：A-37546

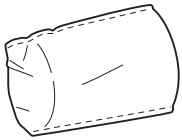


・ フロア・カーペットノズル
部品番号：A-59950
(カーペット掃除でのゴミ捕集率が高く、フローリングでも使用可能です。)



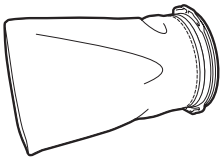
別販売品のご紹介

・ フィルタ※
部品番号：A-43963
・ フィルタ（10 枚入）
部品番号：A-50728



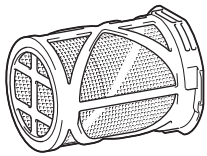
※洗浄して繰り返し使えます。

・ 高機能フィルタ※
（細かな粉じんを捕集）
部品番号：A-58207



※洗浄して繰り返し使えます。

・ プレフィルタ
部品番号：A-79136



バッテリについて

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、バッテリ保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本製品は動く恐れがありますので注意してください。）ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度10 ℃～40 ℃の範囲で行ってください。
・ 使用直後などの熱くなったバッテリは、少し冷やしてから充電してください。
・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

バッテリについて

バッテリの取り付け・取りはずし方

⚠警告

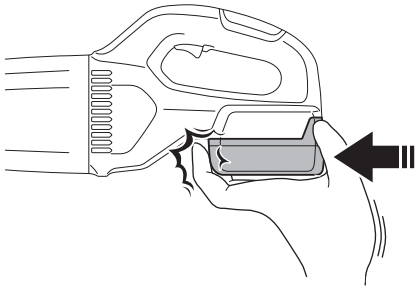
バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

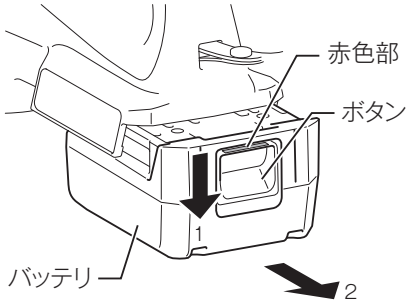
⚠注意

バッテリを取り付ける際は、本製品とバッテリの間で指をはさまないようにしてください。

・ けがの原因になります。



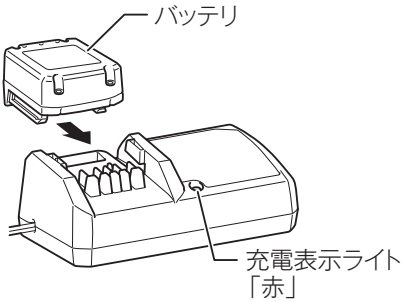
・ バッテリを本製品から取りはずすときは、1 バッテリ正面のボタンを下げながら 2 スライドさせると取りはずせます。
・ 取り付けるときは、逆の要領で本製品の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



充電器について

バッテリの充電方法

1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに挿し込んでください。（充電表示ライト消灯したままです。）
2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。充電が完了すると充電表示ライトが消灯します。
   充電時間は周囲温度やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により長くなることがあります。
4. バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



充電表示ライトについて

ライト表示	表示内容
○ 表示ライト消灯	**充電前／充電完了** 電源に挿し込んだ状態。 または、バッテリの充電が完了した状態です。
赤 表示ライト「赤」点灯	**充電中** バッテリ充電中を示します。
赤 表示ライト「赤」ゆっくり点滅	**待機中** バッテリが高温です。バッテリ温度が下がると自動的に充電開始します。
赤 表示ライト「赤」短く 2 回点滅の繰り返し	**充電不可** バッテリの寿命、またはバッテリ・充電器の異常で充電できません。

充電器について

注

- DC18SG はマキタバッテリ専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライト「赤」がゆっくり点滅を繰り返す場合があります。
  このようなときは、バッテリの温度が下がると充電を開始します。
- 充電時間は周囲温度やバッテリの状態により長くなることがあります。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
  ×バッテリを挿入しても、表示ライトが点灯または点滅しない。
  ×バッテリが挿入されていない状態で充電表示ライトが短く２回点滅を繰り返している。
  ×充電開始後、充電表示ライトが点灯した後、４時間以上たっても充電が完了しない。
  （充電表示ライトが消灯しない）
- 次のような状態が繰り返し発生するときは、バッテリ寿命もしくは、バッテリに異常があると考えられますので、バッテリの使用を中止してください。
  ×バッテリを挿入すると充電表示ライトが短く２回点滅を繰り返す。
  ×充電中に、充電表示ライトが点灯状態から短く２回点滅の繰り返しに変わる。
- バッテリを使用しないときは、バッテリカバーをかぶせてください。
  バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

充電器の点検・修理・保管について

- いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
  修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  ×お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  ×温度や湿度の急変する所
  ×湿気の多い所
  ×直射日光の当たる所
  ×揮発性物質の置いてある所

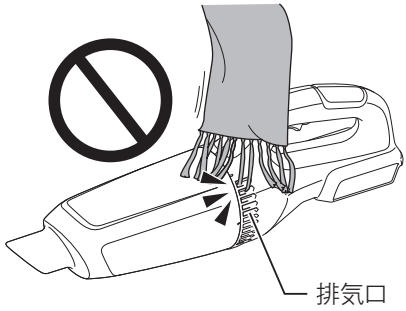
⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

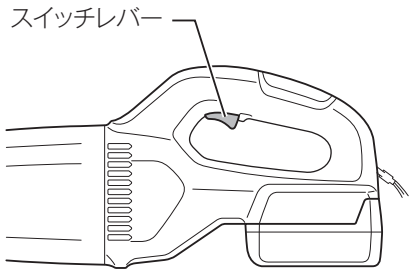
本製品の排気口に髪、マフラーやショールなどの端を近づけないでください。

・ 本製品内部の回転部に巻き込まれ、
けがの原因になります。



スイッチの操作

・ スイッチはスイッチレバーを引くと入り、放すと切れます。



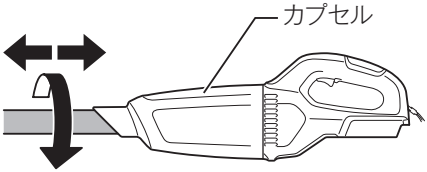
注

・ ご使用前に必ずフィルタ（または高機能フィルタ）が正しく入っていることを確かめてからご使用ください。正しく入っていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。

標準付属品の使い方

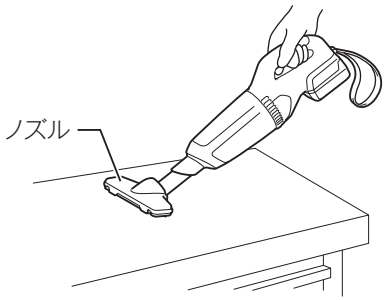
⚠ 注意

ノズルなどの標準付属品は使用中に抜けないように、矢印方向にねじりながらしっかりと挿し込んで取り付けてください。取りはずす場合も矢印方向にねじりながら取りはずしてください。反対方向へ回して取り付け取りはずしをしますとカプセルがゆるむことがありますのでご注意ください。



ノズル

・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、ノズルを本製品に直接挿し込んで、ご使用ください。



ノズル＋ストレートパイプ

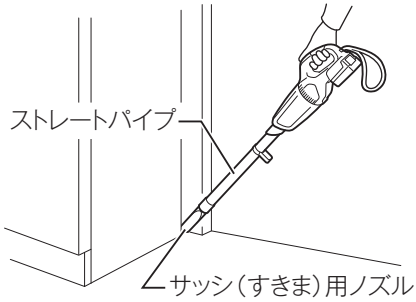
・ たたみ・カーペット・床など低い所を掃除されるときは、本製品とノズルの間にストレートパイプを挿し込めば立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。

サッシ（すきま）用ノズル

・ 自動車の中や家具のすきまおよびサッシの溝などを掃除されるときは、サッシ（すきま）用ノズルを本製品に直接挿し込んで、ご使用ください。

サッシ（すきま）用ノズル＋ストレートパイプ

・ 家具の奥など本製品があたって入らないときや高い所のすきまなどを掃除されるときは、サッシ（すきま）用ノズルと本製品の間にストレートパイプを挿し込んで、ご使用ください。



⚠ 警告

フィルタ類を交換、清掃する際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。

・ バッテリを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをファンに近づけないでください。

・ けがや故障の原因になります。

⚠ 注意

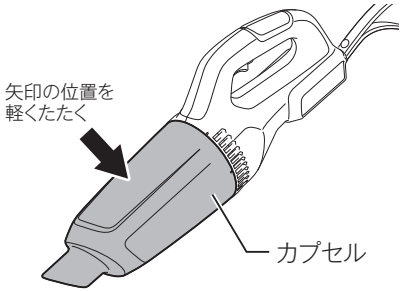
・ **フィルタ類を正しく取り付ける。**

・ フィルタ類を確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタ類を取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

ゴミの捨て方

取りはずし方

1. フィルタに付着したゴミを落とすために、カプセルを手で４～５回軽くたたきます。

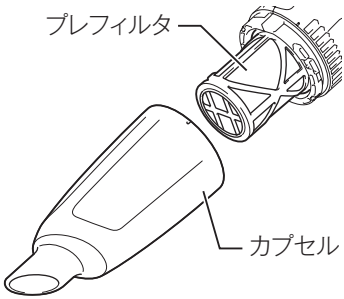


2. 吸込口を下に向けてカプセルを回し、ゆっくりまっすぐカプセルを取りはずします。

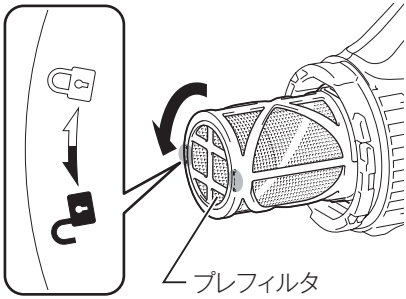
注

・ **カプセルを開ける際にゴミがこぼれる場合がありますので、ゴミ箱を下に置いて行ってください。**

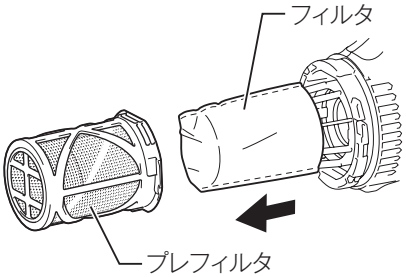
3. カプセル内のゴミを捨てます。



4. プレフィルタを矢印方向に止まるまで回して引き抜きます。

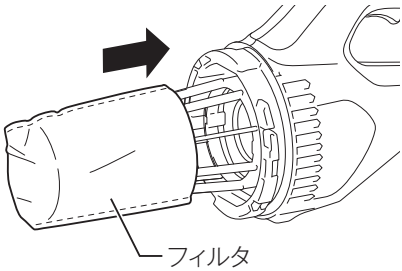


5. プレフィルタ中の細かいゴミを捨て、次に軽くたたくようにしてフィルタに付着したゴミを落とします。



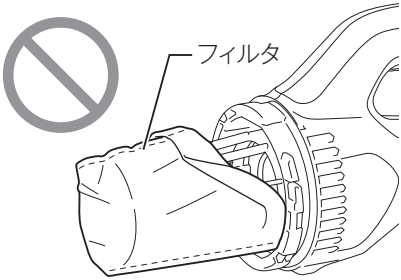
組み立て方

1. ゴミを落とした後、フィルタを本製品の奥までしっかりかぶせます。

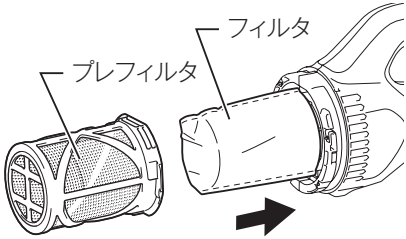


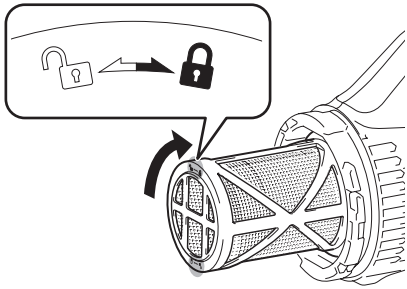
注

・ フィルタは図のようにめくれないようにかぶせてください。正しくかぶせていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。

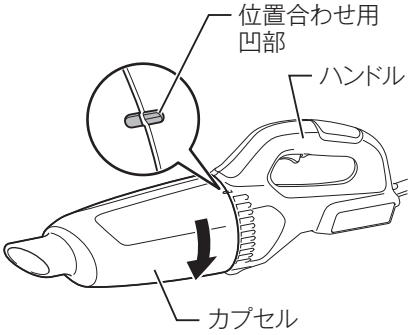


2. プレフィルタを図の向きでフィルタの上からかぶせ、奥まで挿し込みます。矢印方向に止まるまでしっかり回します。





3. カプセルを取り付けます。
カプセルの凹部とハンドル側の位置合わせ用凹部を合わせてから止まるまでしっかり回します。

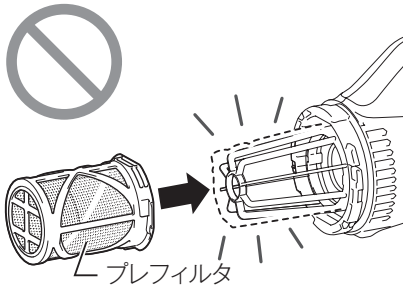


注

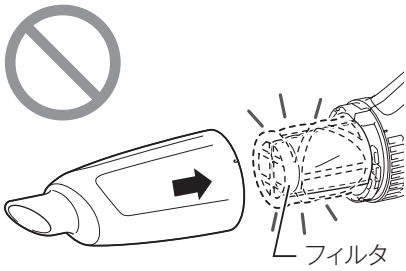
- ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- ご使用前に必ずフィルタ、プレフィルタが正しく取り付けられていることを確かめてからご使用ください。
  - 次の例に該当する場合はフィルタ、プレフィルタが正しく入っていません。再度正しく組み立てなおしてください。

[悪い例]

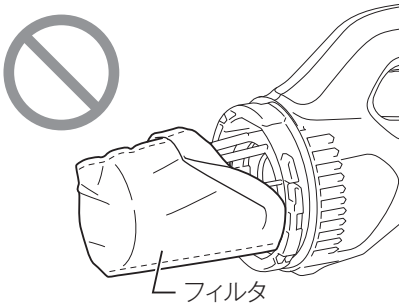
- フィルタを入れずにプレフィルタのみが入っている場合



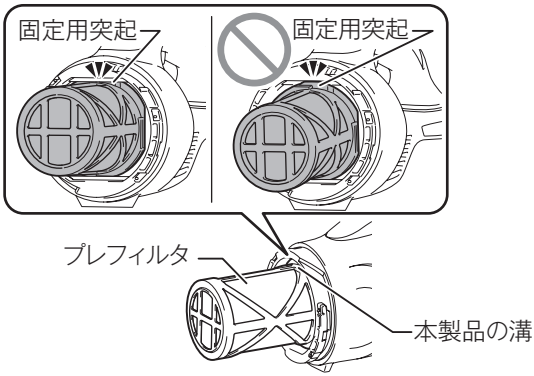
・ プレフィルタを入れずにフィルタのみが入っている場合



・ フィルタがめくれた状態で入っている場合



・ プレフィルタの固定用突起が本製品の溝にしっかりはまっていない場合



別販売品の使い方（高機能フィルタ）

⚠ 警告

フィルタ類を交換、清掃する際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。

・ バッテリを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをファンに近づけないでください。

・ けがや故障の原因になります。

⚠ 注意

・ **フィルタ類を正しく取り付ける。**

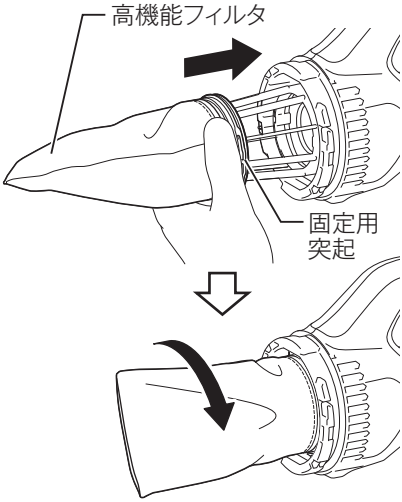
・ フィルタ類を確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタ類を取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

高機能フィルタ

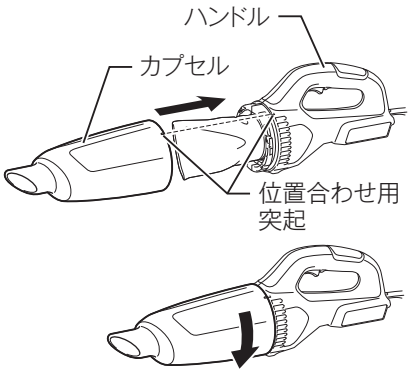
・ 高機能フィルタは標準付属のフィルタに比べ、細かな粉じんを捕集することができます。

組み立て方

1. 高機能フィルタを取り付けます。このとき、高機能フィルタを回して固定用突起を本製品にしっかりはめます。



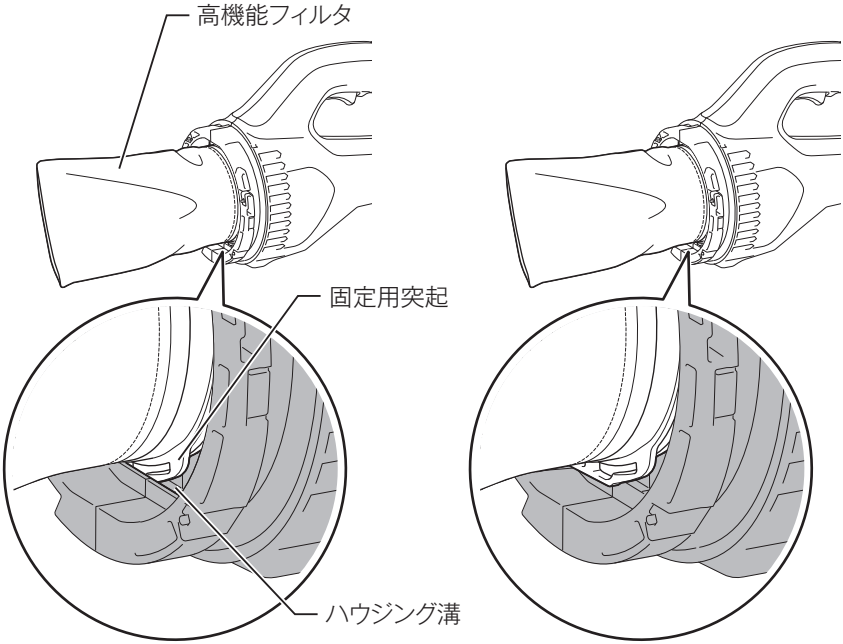
2. カプセルを取り付けます。カプセルの突起とハンドル側の位置合わせ用突起を合わせてから奥までしっかり回します。



注

- ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- ご使用前に必ず高機能フィルタが正しく入っていることを確かめてからご使用ください。
  - 次の例に該当する場合は、高機能フィルタが正しく入っていません。再度正しく組み立てなおしてください。

［悪い例］

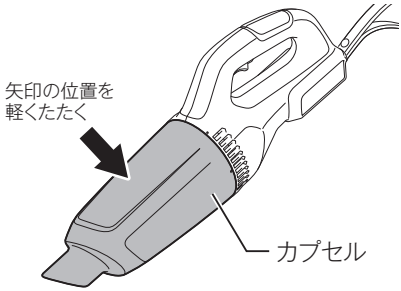


※突起のはまり方が不完全。　※突起が溝からはずれている。

別販売品の使い方（高機能フィルタ）

ゴミの捨て方

1. カプセルを手で軽く４～５回たたき、フィルタに付着したゴミを落とします。

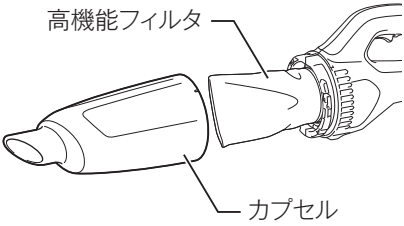


2. 吸込口を下に向けてカプセルを回し、ゆっくりまっすぐカプセルを取りはずします。

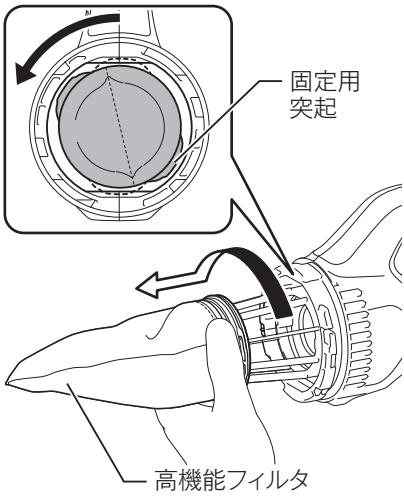
注

- カプセルを開ける際にゴミがこぼれる場合がありますので、ゴミ箱を下に置いて行ってください。

3. カプセル内のゴミを捨てます。



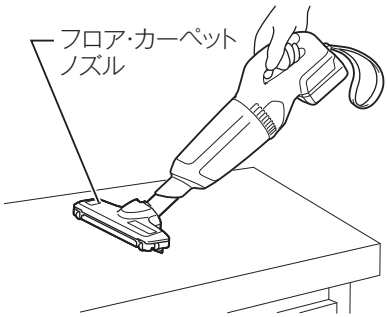
4. 高機能フィルタを回して、本製品から固定用突起をはずしてから手前に引き抜きます。



5. 高機能フィルタから中の細かいゴミを捨て、軽くたたくようにしてフィルタに付着したゴミを落とします。

フロア・カーペットノズル

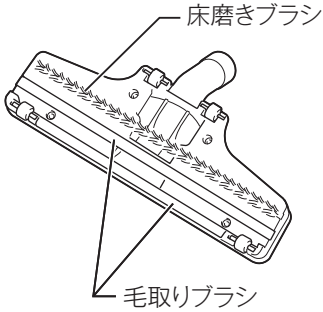
・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、フロア・カーペットノズルを本製品に直接挿し込んで、ご使用ください。



※フロア・カーペットノズルを床面に押し付けすぎず、軽く滑らせるように使用してください。

毛取りブラシ：ノズルを前後させる動きによって、カーペット上のゴミをからめとります。

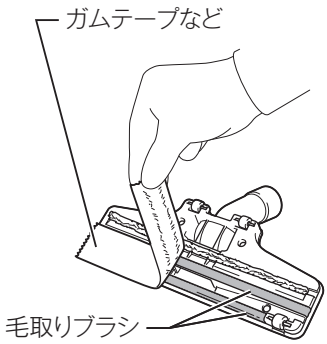
床磨きブラシ：フローリングなどの床を磨く効果があります。



別販売品の使い方（フロア・カーペットノズル）

フロア・カーペットノズルのお手入れ

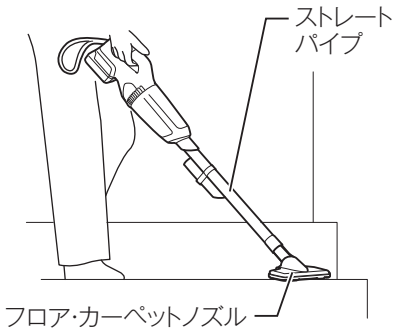
・ フロア・カーペットノズルの毛取りブラシにゴミがたまり、カーペット上のゴミが取れにくくなったときは、ガムテープなどで毛取りブラシに付いたゴミを取り除いてください。



フロア・カーペットノズル＋ストレートパイプ

・ たたみ、カーペット、床など低い所を掃除されるときは、本製品とフロア・カーペットノズルの間にストレートパイプを挿し込めば、立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。

※フロア・カーペットノズルを床面に押し付けすぎず、軽く滑らせるように使用してください。



保管について

本製品の立て掛け方

・ 本製品を立て掛けるときは、ハンドストラップを市販のフックなどに引っ掛けてください。

注

・ 市販のフックなどを使用せずに立て掛けると、転倒して故障やけがの恐れがあります。

保守・点検について

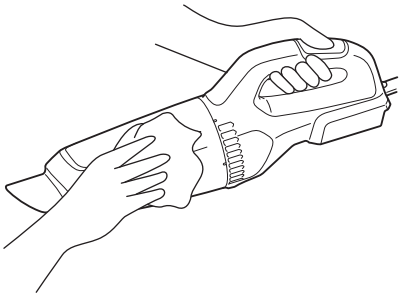
⚠ 警告

ゴミ捨てやフィルタ類を交換、清掃する際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。
- バッテリを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをファンに近づけないでください。
- けがや故障の原因になります。

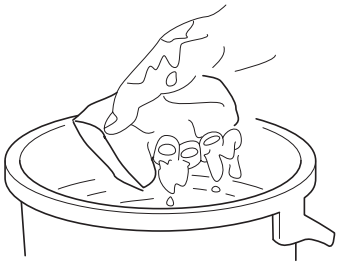
お手入れの際は

- 本製品の汚れは、布に薄めた中性洗剤を少量しみ込ませてふきとってください。



注

- 水洗いは絶対にしないでください。
  - 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは、変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- フィルタは、薄めた中性洗剤でもみ洗いをし、よく乾燥させてからご使用ください。乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸塵力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。



- エアブロワなどで掃除しますと、排気口より粉じんなどが内部に入り込んでしまい、故障の原因となりますので、エアブロワでの掃除は避けてください。

保護機能

本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能
・ 本製品およびバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。 　・ 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを冷却をしてください。 　・ バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
・ バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。 　・ 本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。
・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 　・ いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 37 ページ参照。

症状	調べるところ	解消方法
吸込力が弱い	カプセルの中のゴミが一杯になっていませんか。	ゴミを捨ててください。
	フィルタが目詰まりしていませんか。	フィルタをはたくか、水洗いしてください。
	バッテリが消耗していませんか。	バッテリを充電してください。

注

- 上表に従ってお調べいただいても直らないときはバッテリが寿命の可能性があります。その場合さらに充電されますと充電器も故障する場合がありますので、修理をお申し付けください。
- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理を依頼される場合は、クリーナ本製品の他に充電器も一緒にお持ちください。
- 保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間が過ぎているときは、販売店、または当社営業所にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、お客様のご希望により有料で修理いたします。

メモ

メモ

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881J18B8
IWT